

	指導内容	学年	身につけさせたい力	使えるようにする基本型
話す	(現行) 知らせたいことを選び、ことからの順序を考えながら、相手に分かるように話すこと。 (新) ア <u>身近なことや経験したこと</u> などから話題を決め、必要な事柄を <u>思い出す</u> こと。 イ <u>相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて</u> 話すこと。 ウ <u>姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で</u> 話すこと。	1年生	◎知らせたいことを <u>順序に気をつけて</u> 話す。 ◎ <u>みんなに聞こえる声</u> で話す。 ◎ <u>姿勢や口形</u> に注意して話す。 ◎ <u>はっきりした発音</u> で話す。 ◎ <u>主述の整った文で文末をはっきりさせて</u> 話す。	○「～は、～です。」 ○「～をしました。」
		2年生	○メモをもとに話す。 ◎ <u>実物や絵を見せながら</u> 話す。 ☆聞いただけでは様子が伝わらない言い方はしない。 ◇ <u>初めに、どんなことかを大まかに説明する</u> 。 ◇ <u>順序よく整理して</u> 話す。 ◇ <u>順序を表す言葉を使って</u> 話す。	○5W1Hを組み合わせて話す。 ○「～なので、～しています。」 ○「～を～したら、～も～しました。」 ◇大まかなことから細かいことの順で話す。 ◇順序を表す言葉 「まず」「次に」「それから」「最後に」
聞く	(現行) 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。 (新) エ <u>大事なことを落とさないように</u> しながら、 <u>興味をもって</u> 聞くこと。	1年生	○話の内容を覚えたり考えたりしながら聞く。 ◎ <u>聞きたいことがあるかどうか気をつけて</u> 聞く。 ◎ <u>相手の顔を見ながら、静かに</u> 聞く。 ◎ <u>姿勢をくずさず</u> に聞く。 ◎ <u>文末を意識して</u> 聞く。	○5W1Hに気をつけて聞く。(二つから三つ) ○分からないことをはっきりさせ、質問する。 「いつ～ですか。」「どこで～ですか。」 「だれが～ですか。」「何を～ですか。」 「なぜ～ですか。」「どのように～ですか。」 ○文末表現(肯定・否定)
		2年生	○ <u>話す人を見て</u> 聞く。 ◎ <u>質問することを考えながら</u> 聞く。 ◎ <u>質問は話が終わってから</u> する。 ☆様子を思いうかべながら聞き、分からないことは聞き返す。 ◇ <u>順序を表す言葉に気をつけて</u> 聞く。	◇順序を表す言葉 「まず」「次に」「それから」「最後に」
話し合う	(現行) 身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと。 (新) オ <u>互いの話を集中して聞き、話題に沿って</u> 話し合うこと。	1年生	◎相手に聞き直したり尋ねたりしながら聞く。 ◎話し手と聞き手の立場を理解する。 ◎話すとき、聞くときは、 <u>相手の方を向く</u> ことを覚える。	◎「なぜ、～ですか。」 ◎「～か、おしえてください。」 ◎「～は、～からです。」 ◎考えや立場が同じか違うかをはっきりさせる。 「おなじで～」 「にいていて～」 「ちがって～」
		2年生	●対話 ◎何について話し合うか、はっきりさせてから話し合う。 ◎自分の考えを分かりやすく話す。 ◎友達の話を最後までよく聞く。 ◎話題に沿って話す。	◎「～するのはどうかな。」 ◎「～のかわりは、何がいいかな。」 ◎「～だけではなくて、もっとほかに、くふうのし方はないかな。」 ◎「～を～したら、～も～しました。」 ◎「もし、～したら、～。」

	指導内容	学年	身につけさせたい力	使えるようにする基本型
話す	<p>(現行) 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、<u>相手</u>や<u>目的</u>に応じた適切な言葉遣いで話すこと。</p> <p>(新) ア <u>関心のあること</u>などから話題を決め、必要な事柄について調べ、<u>要点をメモ</u>すること。</p> <p>イ <u>相手</u>や<u>目的</u>に応じて、<u>理由</u>や<u>事例</u>などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。</p> <p>ウ <u>相手</u>を見たり、<u>言葉の抑揚</u>や<u>強弱</u>、<u>間の取り方</u>などに注意したりして話すこと。</p>	3年生	<p>○話したいことをメモに書き出す。</p> <p>○メモの中から話すことを選んで、順序よく話す。</p> <p>○初めに、何について話すのかを言う。</p> <p>○人数や場所の広さに合わせた声の大きさや、話す速さにする。</p> <p>○聞き手の方を見ながら話す。</p> <p>★初めに、話す事柄がいくつあるかを言う。</p> <p>★事柄ごとにまとめて話すときに、番号を使って話す。</p> <p>◇インタビューの仕方(質問メモ、目的を伝える、相手に合った言葉遣い、メモをとる、終わったらお礼を言う)</p> <p>◇初めに、話の中心点を言ってから、細部を説明する。</p>	<p>○「わたしは、～の話をします。」(スピーチの初め)</p> <p>★「理由は、二つあります。」 ★「三つのことを話します。」</p> <p>★「一つ目は(に)、…」 「二つ目は(に)、…」 「三つ目は(に)、…」</p> <p>◇初めに、話の中心点を言ってから、細部を説明する。</p>
		4年生	<p>○必要なことを落とさないように話す。</p> <p>○伝えたいことを整理して話す。</p> <p>○出来事についての自分の感想や考えも加えて話す。</p> <p>○題材にかかわる写真や絵、物があれば、見せながら話す。</p> <p>○声の大きさや、話す速さに気をつけ、間の取り方を工夫する。</p> <p>★電話で正しく伝え合う。(メモ、聞き取りやすいようにはっきりした声でゆっくり話す。)</p> <p>◇何をを使って、どんな手順でするのが分かりやすく説明する。</p> <p>◇理由が分かるように話す。</p> <p>◇聞き手の興味をひく言葉を使う。</p>	<p>○「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」</p> <p>◇「まず」「そして」(手順が分かるように)</p> <p>◇「なぜ…」 「…からです。」(理由が分かるように)</p> <p>◇呼びかけの言葉「みなさん」「いかがですか。」</p> <p>◇共感を求める言葉「…ますね。」 「…ましたね。」</p> <p>◇問いかける文末の言葉「…でしょう。」 「…でしたか。」</p>
聞く	<p>(現行) 話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめること。</p> <p>(新) エ <u>話の中心</u>に気を付けて聞き、<u>質問</u>をしたり<u>感想</u>を述べたりすること。</p>	3年生	<p>○話し手の方を見て、相づちを打ちながら聞く。</p> <p>○もっとくわしく知りたいことはないか、考えながら聞く。</p> <p>★メモをとりながら聞く。</p> <p>★メモでは、記号をうまく使う。</p>	<p>○「～と言いましたが、(5W1H)～ですか。」</p> <p>○「そんなに～なのは、どうしてですか。」</p> <p>★矢印で、話の流れを表す。「↓」「↑」「→」「←」</p> <p>★丸や星マークなどで、大事なところを表す。「○」「☆」「※」…</p> <p>★番号で、事柄の順番を表す。</p>
		4年生	<p>○簡単なメモをとりながら聞く。</p> <p>★電話で伝え合う。(メモをとる、聞き取れないことは聞き返す、繰り返し言い相手に確かめてもらう)</p>	
話し合う	<p>(現行) 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うこと。</p> <p>(新) オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、<u>司会</u>や<u>提案</u>などの役割を果たしながら、<u>進行に沿って</u>話し合うこと。</p>	3年生	<p>◎話し合いができるように、いろいろな方法で調べて、自分の考えをまとめる。</p> <p>◎具体例を挙げて述べる。</p> <p>◎司会は、グループの全員が考えを発表できるように進める。</p>	<p>◎「わたしは、～で調べました。～ということが分かりました。」</p> <p>◎「ぼくは、～を見ました。～は、～だそうです。」</p> <p>◎「わたしは、～を体験したとき、～でした。～だと思います。」</p> <p>◎「たとえば～」 「～などのように」</p> <p>◎「～さんに質問です。」 ・「～さんに聞きます。」</p>
		4年生	<p>◎何をどのように比べているかに気をつけて話し合う。</p> <p>◎司会は、どちらがよいかにこだわらず、たくさんの人から、いろいろな考えを聞くようにする。</p>	<p>◎「Aは～です。一方、Bは～です。だから、～の方が～です。」</p> <p>◎「Aは、～ます。これに対して、Bでは、～」 ◎例えば、～</p> <p>◎「～ということですが、～でも～ではありませんか。」</p> <p>◎このように見てくると、それぞれ～が分かります。</p> <p>◎「確かにそうですね。でも、～」</p>

	指導内容	学年	身につけさせたい力	使えるようにする基本型
話す	(現行) 考えた事や自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。 (新) ア <u>考えたことや伝えたいこと</u> などから話題を決め、 <u>収集した知識や情報を関係付ける</u> こと。 イ <u>目的や意図</u> に応じて、事柄が <u>明確</u> に伝わるように <u>話の構成</u> を工夫しながら、 <u>場に応じた適切な言葉遣い</u> で話すこと。 ウ <u>共通語と方言との違い</u> を理解し、また、必要に応じて <u>共通語</u> で話すこと。	5年生	○まず初めに最も伝えたいことをまとめて言い、その後くわしく説明する。 ○自分の思いや考えが聞き手に伝わるように工夫して話す。 ○理由が分かるように話す ○具体的な事実を上げて話す ☆相手の話をよく聞き、その内容に沿って、自分の考えを話す。 ☆相手が答えやすいように具体的に質問する。 ☆相手から質問されたときは、相手の知りたいことが何かを正確に聞き取り、分かりやすく答える。 ◇事実と感想・意見を区別して、話の組み立てを工夫して話す。 ◇根拠になる資料を提示しながら話す。	○「なぜかという、…からです。」「そのわけは、…からです。」 ○「例えば、…。」「例を挙げると、…。」
		6年生	○事実と感想・意見、伝聞を区別して話す。 ○写真や図、表などの資料を見せて話す。 ○人名や地名、物の名前や数値なども具体的に示すようにする。 ☆前置きの言葉を適切に使う。 ☆相手に負担をかけないような言い方を考えて話す。 ☆相手や伝える内容に応じた口調で話す。 ☆敬語を適切に使う。	○事実…「～です(でした)。」「～ます(ました)。」「 ○感想・意見…「～と考えました。」「～と思います。」「 ○伝聞…「～だそうです。」「～ということです。」「 ☆「ちょっと、いい。」「悪いけど…」「すみませんが…」 「申し訳ありませんが…」
聞く	(現行) 話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。 (新) エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と <u>比べる</u> などして考えをまとめること。	5年生	○話し手が、どんなことについて話しているのかを考えながら聞く。 ☆相手の話をよく聞き、その内容に沿って聞きたいことを質問する。 ☆聞きたいことがあるときは、相手が答えやすいように、具体的に質問する。	○「～をくわしく話していたので、～がよく分かりました。」 ○「～がよく伝わってきました。」 ☆「どうやって～したの?」「何を～すればいいの?」
		6年生	○話し手が、どんなことについて話しているのかを考えながら聞く。 ☆お互いに相手を尊重し合って、相手の状況や伝える内容に気を配った言葉遣いをする。	・「～さんは、～ということまで言っていて、～と思いました。」
話し合う	(現行) 自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。 (新) オ 互いの <u>立場や意図</u> をはっきりさせながら、 <u>計画的</u> に話し合うこと。	5年生	●ディベート ◎自分たちの立場を明確にする。 ◎理由や根拠を明確にして主張する。 ◎自分たちの主張が相手に分かりやすいように、結論から述べる。 ◎相手の主張を正しく理解する。	◎(立論)「ぼくたちは、…べきだと考えます。まず、…。また、…。さらに、…。もう一つ付け加えると、…。以上の理由から、…と考えます。」 ◎(反論)「…という四つの理由のうち、特に二つの点について反論します。まず、…と書いていましたが、…。もう一つは、…という点です。…」
		6年生	●討論会「パネルディスカッション」 ◎司会者は、初めに、討論の全体の流れが分かるように説明する。 ◎討論者は、自分の考えが伝わりやすいように、結論を初めに述べる。 ◎人の話をよく聞き、それを踏まえて自分の考えを話す。	◎(まず方針)「～という考えをもとに説明します。～」 ◎(話を踏まえて)「～さんは～と言いましたが、～」